

会報

しんせき

第 31 号

平成25年9月11日

発行責任者

新関コミュニティ協議会
会長 瀬戸範彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL 0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



黄金の波

◆実りの秋を迎えました。 黄金色に実った稲穂が刈り入れを待っています。

ところで、このところ恐ろしいまでの自然現象が連続しています。40度前後の高温と熱中症、記録的豪雨と土砂災害、今回の台風18号も日本各地に猛威をふるい甚大な被害をもたらしました。海水温の上昇でサンマも不良とか。ゆったりとした四季の変化を味わうどころの話ではありません。

連續して襲ってくる竜巻。竜巻などは、遠く外国の話かと思っていました。子供の頃、海水と一緒に巻き上げられた魚

が地上に降つてくるなどという話を聞かせて少々憧れたことを思い出します。今後も異常気象が気になります。

◆9月1日は「全国防災の日」、9月9日は「救急の日」でした。私たちの新関地域は、今年から6月の第4日曜日を防災の日と定め、防災意識の継続向上や日頃の備えを呼び掛けたところです。また、皆様に「緊急情報キット」を無料配布し、緊急時に備えてもらつことにしました。病名や薬名、かかりつけの病院、保険証の写し等、必要事項を記入し冷蔵庫に保管されましたでしょうか。災害だけでなく、病気や怪我など緊急の際、家族が留守だった時などに役立ちます。是非実行してください。

◆再び東京でオリンピックとパラリンピックが開催されることになりました。ビッグニュースです。日本が変わるチャンス、失われた日本の良さを取り戻すチャンス、震災からの復興を示すチャンスでしょうか。「美しい日本」と言った首相を思い出します。自然だけでなく、大震災に見舞われた中で世界中を感動させた被災者のマナーの良さ、忍耐強さ、謙虚さ、心の美しさや優しさなど日本の素晴らしい精神文化を全世界にアピールしたいものです

お知らせ 「新関ふれあい祭り」は10月26日（土）です。多数の作品を募集しますのでご協力ください。今回は写真作品「わたしが撮った新関八景（仮称）」を募集し表彰します。詳細は、後日ご案内いたします。



大河ドラマ 「八重の桜」「鶴ヶ城」 新開Community協議会 史跡めぐり

9月9日(月)恒例の
史跡巡りを行いました。

前日までの雨がうその
ようなさわやかな秋
晴れの中、今回は会津若
松市を歩いてみました。

おりしもNHK大河
ドラマ「八重の桜」が毎
週日曜日に放送されて
います。また、鶴ヶ城の
屋根瓦もリニューアル
され一段と格調高いお
城となっています。

大河ドラマ館では、ド
ラマのストーリーを思
い浮かべながら登場人
物、俳優さんの写真、実
際の衣装などを見学し
ました。その後酒蔵を見
学、試飲。

お昼は、料理を口にし
ながらの談笑、歓談。出
張お茶の間も行われ、楽
しい研修旅行となりま
した。来年も是非。

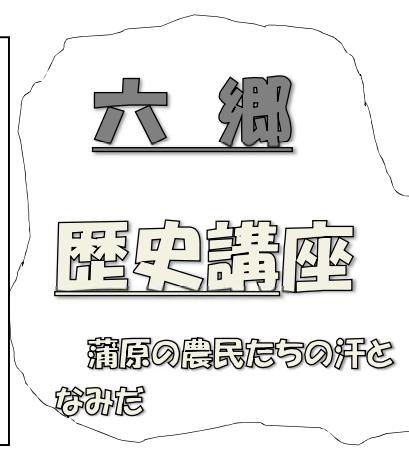
自治会の夏

暑い夏でした。そんな中、「熱いイベント」が各自治会で繰り広げられました。



六郷自治会は、郷土史編纂に向けて着々と編集作業を進めておられます。

今回はその一環として「六郷歴史講座」を開催。郷土史研究家の金森敦子先生が、蒲原平野の成り立ちや阿賀野川の変遷と水害、それらに関わる農民達の努力や苦労などを分かり易い資料をもとに講演され、大変感銘深いお話をされました。



しんせき夢マップ

地域の宝を内外にアピール

看板・案内表示板設置

地域の安心 安全のため

「新関地区交通安全防犯等連絡協議会(仮称)発足」

新関小学校やおひさま保育園までの道路は、近年交通量が増し危険度も高まっています。また、いろいろな標識が林立し適切な位置なのかの疑問も生じています。

さらに、交通安全や防犯等の組織や団体がありますが、それぞれ単独で活動しており連携が取れていない面があります。このような状況を鑑み、より効果的に対応し地域の安心や安全確保のために「新関地区交通安全防犯等連絡協議会(仮称)」を立ち上げることにしました。

関係機関は、新関コミ協・新関地区交通安全協会・新関小学校・新関小PTA・新関地区自治会・下新駐在所で、会への出席者は、それぞれ所属の長と考えています。

情報の収集、調査、啓発、関係機関等への働きかけが主な任務となります。



通学路を中心とした点検調査実施

一部工事中の所以外は、ほぼ予定通りに設置できました。今後様子を見ながらさらに必要な個所に取り付けていきます。
マップを使っての史跡めぐりやウォーキングがいろいろ計画されています。機会がありましたら参加してください。

しんせき夢マップ完成に伴い、案内表示板などを地域内に取り付けました。自治会や個人宅、神社仏閣等の管理者のご理解とご協力のもと、ボランティアの皆さんのが協力により作業が進められました。